

授業改善書

科目名	英語 I (人間学部)
担当者	西山智則

授業の概要

基本的な英語を『英語で学ぶリベラル・アーツ』という教科書を使って学習する。人間文化学科の学生がどの領域においても必要とする、リベラル・アーツの基本を平易な英語で理解することにより、それぞれの専攻する分野で必要となるより高いレベルの英語に進むための基本を養成する。英文の読解、リスニング、会話の学習を通して基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学ぶと同時に、世界の様々な文化や歴史に関する教養を深め、多様な分野に関心をもてるように指導する。

授業の問題点

出席や課題などの提出率は、4.57 と平均的であり、全体的に大きな問題はなかったように思える。提出物と小テストと定期テストを評価の基準としたが、テストを受けた学生の多くが合格できた。しかしながら、欠席が多く、テストの点数も良くなく、不合格の学生も少数だがでてきてしまった。最初から英語が苦手な学生をどうケアして、いかに学習意欲をあげてゆくかが課題であると考えている。

学生の授業満足度

満足度は 4.03 と平均の 4.41 を割ってしまったのだが、今期は英語の苦手な学生にスピードを合わせたために、簡単すぎたのかもしれない。また教科書の英文が少し単調すぎるところもあるので、学生の満足度をあげるためには、教科書のテーマを教員なりにアレンジして、文化や歴史などの領域に話を広げ、いかにして英語以外の点でも授業に興味をもたすかという工夫が必要となる。

授業改善の課題と方策

英語については、高校までの習得状況にかなり差がでてきてしまい、本学では苦手な学生も少なくない。初歩的で丁寧な説明をすることで、そうした学生をケアしていきたい。また、その一方で英語力のある学生には、別途の教材を与え、自宅での自発的学習を促す意欲向上につながる工夫をしてゆくべきだと考える。コロナ感染に配慮した結果、学生にしっかり英語の発音をしてもらう機会も少なく、授業が単調になったことを反省し、今後学生の興味をひく授業を展開したい。

その他